

平成30年度 当初予算案  
(平成29年度2月補正含む)

主要事項説明資料

企 画 理 事

# 主要事項説明資料目次

企画理事

ページ	事業名	担当課(室)
共通 1	「海の京都」事業費	企画理事付 企画総務課 企画推進課 文化政策課 自然環境保全課 総合就業支援室 経済交流課 観光政策課 農村振興課 経営支援・担い手育成課 水産課 港湾企画課
2	「森の京都」事業費	企画理事付 企画総務課 スポーツ振興課 スポーツ施設整備課 総合就業支援室 産業立地課 観光政策課 農村振興課 林務課 森づくり推進課 交通政策課
3	「お茶の京都」事業費	企画理事付 企画総務課 スポーツ振興課 総合就業支援室 観光政策課 農村振興課 流通・ブランド戦略課 農産課 交通政策課

平成30年度 当初予算案主要事項(平成29年度2月補正含む)説明  
共 通

事業名	「海の京都」事業費			新規・継続の別	一部新規	
予算額	844,828千円 (うち2月補正120,000千円)	国庫	起債	その他	一般財源	
		173,344	126,000	9,800	535,684	
事業内容 目的 対象 方法等	<p><b>1 趣 旨</b> 日本の顔となる「ブランド観光地域」の形成に向け、新たなステージへステップアップを図り、「海の京都」の持続的展開を図るため、観光地経営の主体となるDMO等とともに、地域の総力を結集して観光地域づくりを推進する。</p> <p><b>2 事業内容</b></p> <p>○ DMOによる「海の京都」の持続的展開 <b>100,138千円</b> ・DMOが観光地域づくりの総合プロデューサーとして、戦略的な地域ブランド化、観光交流・観光消費額の拡大を図り、地域の稼ぐ力を創出 ・「海の京都」の取組で醸成された地域のつながりや盛り上がりの機運を持続・発展させ、エリア内外からの周遊促進等を図るイベントの実施 等</p> <p>○ ブランド観光地域の形成に向けた受入基盤の強化 <b>717,068千円</b> ・クルーズ船寄港時における利便性向上やおもてなし対策の推進 ・兵庫県・鳥取県等と連携した山陰海岸世界ジオパークの景観保全・地域振興 等</p> <p>○ 「海の京都」ブランドのPR <b>27,622千円</b> ・丹後王国「食のみやこ」の10次産業化等拠点づくりの推進 ・丹後とり貝や岩がき等の「海の京都」の魅力を代表する水産物等の生産拡大、地域ブランド創出の推進 等</p>					
担当課・担当名	<p>①企画理事付 企画総務課 企画調整担当 ②計画推進課 計画・地域担当 ③文化政策課 企画・生涯学習担当 ④自然環境保全課 自然環境担当 自然公園担当 総合就業支援室 京都ジョブパーク担当 ⑤経済交流課 港湾経済担当 ⑥観光政策課 観光振興・基盤整備担当 ⑦農村振興課 移住促進担当 里力再生担当 ⑧経営支援・担い手育成課 農業ビジネス担当 ⑨水産課 漁政企画担当 ⑩港湾企画課 調整担当</p>			課・担当電話番号	<p>075-414-4529 075-414-4336 075-414-4347 075-414-4217 075-414-4378 〃 075-682-8913 075-414-4844 075-414-4841 075-414-4906 〃 075-414-4908 075-414-4992 0773-75-0192</p>	

# 「海の京都」事業一覧

(単位:千円)

NO	事業名	概要	予算額	うち2月補正	部局名
<b>1 DMOによる「海の京都」の持続的展開</b>					
	「海の京都」DMO推進事業費	観光地域づくりの総合プロデューサーとして、観光交流・観光消費額の拡大や、地域資源のブランド化を図り、地域の稼ぐ力を創出	82,300		企画理事付 ①
	「海の京都クルージングフェスタ」開催事業費	「海の京都」の取組で醸成された地域のつながりや盛り上がりの機運を持続・発展させ、エリア内外からの周遊促進等を図るイベントを開催	8,000		企画理事付 ①
	「もうひとつの京都」観光PR事業(共通)	2020年東京オリンピック・パラリンピックに向け、増加が見込まれるインバウンドを含む観光客を「もうひとつの京都」へ呼び込むため、情報発信を強化	9,838		商工労働観光部 ⑥
<b>小 計</b>			<b>100,138</b>	<b>0</b>	
<b>2 ブランド観光地域に向けた受入基盤の強化</b>					
	京都舞鶴港日本海側拠点機能推進費(国際クルーズ誘致事業費)	外航クルーズ客船のアジア進出の機会を捉え、日本海側諸港(小樽港・伏木富山港等)との連携を強化し、京都舞鶴港の背後観光地の魅力を海外に広くアピールするとともに、地元の受入体制を強化することにより、国際クルーズの誘致を推進	24,049		商工労働観光部 ⑤
	京都舞鶴港「海の京都駅(仮称)」推進事業費	クルーズ船寄港時における待合や税関等対応時の利便性向上、おもてなし満足度向上策の実施及びそのための荷役機能の高度化	198,000	120,000	商工労働観光部・建設交通部 ⑩
新	農村型小規模多機能自治推進事業費(共通)	米政策の転換や農山漁村の過疎高齢化が進む中、小規模農家も含めた農山漁村全体を守る地域活動を強化するため、外部人材の活用を含めた地域の基盤づくりや、地域資源を活用した「なりわい」づくりから企業と提携したビジネスへの発展まで一体的に支援し、トータルマネジメントを行う農山漁村コミュニティ(農村型CMO)を形成	201,540		農林水産部 ⑦
	京都移住促進プロジェクト事業費(共通)(一部再掲)	農山漁村の担い手が減少する中、新たな担い手の確保を核とした農村と都市の共生によるまちづくりを総合的に推進し、活力のある地域を創出	259,054		政策企画部・商工労働観光部・農林水産部 ⑦
	新・世界遺産事業費	「天橋立」の世界遺産の登録に向け、地元とも協働し、気運を高めるためのシンポジウム等を開催	2,000		文化スポーツ部 ③
	山陰海岸世界ジオパーク推進事業費	兵庫県や鳥取県等と連携し、山陰海岸世界ジオパークの貴重な地質資源や景観の保全と、観光・ジオツーリズムなど地域振興の取組を展開	3,600		環境部 ④
新	丹後海と星の見える丘公園整備費	丹後海と星の見える丘公園において、宿泊利用者の満足度向上や、近隣の民泊・宿泊施設と連携した日帰り入浴等新規需要の創出に向け、太陽熱・木質バイオマス併用型ボイラーを整備	20,000		環境部 ④
	「TANTANロングライド」開催支援事業費	丹後、中丹地域への観光誘客を図るため、平成30年6月に開催されるロングライド大会への参加者に対するおもてなし事業を実施	1,900		商工労働観光部 ⑥
	音と食のミュージアム「海の京都」を食いつくせ!フェスタ開催事業費	クルーズ客船の寄港に合わせ、京都舞鶴港と海の京都をPRする食のフェスタを、民間主催の野外音楽フェスとコラボして開催。あわせて京阪神と京都舞鶴港を直接結ぶ特別列車を運行	3,125		中丹広域振興局 ②
	若い力で丹後を元気に!プロジェクト事業	行政、民間団体、地域住民が連携を強化して、大学生等の協力を得ながら、阿蘇海のカキ殻回収や資源化の取組など、持続可能な阿蘇海等の環境づくりを推進	3,000		丹後広域振興局 ②
新	山陰海岸ジオパークステップアップ事業	新たな観光手法の確立を目指すため、トレッキングや宿泊を伴いながら、地域の文化や自然、食を楽しめるトレイルコースの整備検討と地域の気運を醸成	800		丹後広域振興局 ②
<b>小 計</b>			<b>717,068</b>	<b>120,000</b>	

(問合せ先)

①

①

⑥

⑤

⑩

⑦

⑦

③

④

④

⑥

②

②

②

# 「海の京都」事業一覧

(単位:千円)

NO	事業名	概要	予算額	うち2月補正	部局名
<b>3 「海の京都」ブランドのPR</b>					
	「丹後王国」食と文化・観光の拠点づくり事業費	丹後王国「食のみやこ」において、食人材の育成、観光、文化発信拠点としての魅力アップ及び農業ビジネスを推進し、「農」と「観光」のクロスオーバー産業を育成	9,622		農林水産部 ⑧
	京都産水産物生産・流通拡大事業費	生食用カキの試験生産を実施するほか、養殖等の施設導入や地産地消の取組、試作品開発等を支援	18,000		農林水産部 ⑨
<b>小 計</b>			<b>27,622</b>	<b>0</b>	
<b>総 計</b>			<b>844,828</b>	<b>120,000</b>	

共通-1-(2)

平成30年度 当初予算案主要事項(平成29年度2月補正含む)説明

共 通

事業名	「森の京都」事業費			新規・継続の別	一部新規
予算額	951,282千円 (うち2月補正 97,000千円)	国庫	起債	その他	一般財源
		388,036	81,000	25,490	456,756
事業内容  目的 対象 方法等	<p><b>1 趣 旨</b>                      交流産業の振興や林業の付加価値向上、移住・定住の場の確保等により持続可能な生活圏を形成するため、DMO等とともに、森や里山の豊かな自然環境、森の恵みを活かした食や伝統文化、産業、暮らしなどの地域の魅力を活かした地域振興を推進する。</p> <p><b>2 事業内容</b></p> <p>○ DMOによる「森の京都」の持続的展開 <b>63,968千円</b>                      ・DMOが観光地域づくりの総合プロデューサーとして、戦略的な地域ブランド化を行い、観光交流・観光消費額の拡大を図り、地域の稼ぐ力を創出                      ・「森の京都」の取組で醸成された地域のつながりや盛り上がりの機運を活かし、地域の事業を持続・発展させていくためのイベントの実施 等</p> <p>○ 「森の京都」の魅力発信と受入基盤の強化 <b>520,894千円</b>                      ・丹波自然運動公園など「森の京都」に係る戦略拠点の整備推進によるコンテンツの強化                      ・全国育樹祭を契機に高まった次世代への森林継承の機運を一過性のものとさせないため、森林保全の観点から「木材需要の喚起・消費拡大」「森を学ぶ・体験する」「次世代の育成」をテーマにイベントを開催 等</p> <p>○ 林業振興と森林文化の継承 <b>366,420千円</b>                      ・丹波広域基幹林道の機能を活かした木材資源の供給体制の強化                      ・府内産材の自給率アップによる府内完結型の木材産業体制の構築を目指した総合対策の実施</p>				
担当課・担当名	①企画理事付 企画総務課 企画調整担当 ②スポーツ振興課 国際大会等誘致担当 ③スポーツ施設整備課 スポーツ施設担当 総合就業支援室 京都ジョブパーク担当 ④産業立地課 調整担当 ⑤観光政策課 観光振興・基盤整備担当 ⑥農村振興課 移住促進担当 里力再生担当 ⑦林務課 企画・計画担当 林業振興・府有林担当 木材産業担当 ⑧森づくり推進課 モデルフォレスト推進担当 ⑨交通政策課 整備担当		課・担当電話番号	075-414-4529 075-414-4336 075-414-4252 075-414-4284 075-682-8913 075-414-4848 075-414-4841 075-414-4906 〃 075-414-5016 075-414-5006 075-414-5009 075-414-5005 075-414-4360	

# 「森の京都」事業一覧

(単位:千円)

NO	概 要	予算額	うち2月補正	部局名		
<b>1 DMOによる「森の京都」の持続的展開</b>						
	「森の京都」DMO推進事業費	観光地域づくりの総合プロデューサーとして、観光交流・観光消費額の拡大や、地域資源のブランド化を図り、地域の稼ぐ力を創出	46,130		企画理事付	①
	「森の京都ハーベスト・ガラ」開催事業費	「森の京都」の取組で醸成された地域のつながりや盛り上がりの機運を活かし、地域の事業を持続・発展させていくため、地域が一体となって取り組むイベントを開催	8,000		企画理事付	①
	「もうひとつの京都」観光PR事業(共通)	2020年東京オリンピック・パラリンピックに向け、増加が見込まれるインバウンドを含む観光客を「もうひとつの京都」へ呼び込むため、情報発信を強化	9,838		商工労働観光部	⑤
<b>小 計</b>		<b>63,968</b>	<b>0</b>			
<b>2 「森の京都」の魅力発信と受入基盤の強化</b>						
新	林業「森世紀」創造戦略事業費(豊かな森林継承事業費)	全国育樹祭を契機に高まった次世代への森林継承の機運を一過性のものとさせないため、森林保全の観点から「木材需要の喚起・消費拡大」「森を学ぶ・体験する」「次世代の育成」をテーマにイベントを開催	6,100		農林水産部	⑧
	京都モデルフォレスト推進事業費	森林所有者、ボランティア団体、企業等が連携した府民参画、府民協働による森づくりを推進	5,000		農林水産部	⑧
	農村型小規模多機能自治推進事業費(共通)	米政策の転換や農山漁村の過疎高齢化が進む中、小規模農家も含めた農山漁村全体を守る地域活動を強化するため、外部人材の活用を含めた地域の基盤づくりや、地域資源を活用した「なりわい」づくりから企業と提携したビジネスへの発展まで一体的に支援し、トータルマネジメントを行う農山漁村コミュニティ(農村型CMO)を形成	201,540		農林水産部	⑥
	京都移住促進プロジェクト事業費(共通)(一部再掲)	農山漁村の担い手が減少する中、新たな担い手の確保を核とした農村と都市の共生によるまちづくりを総合的に推進し、活力のある地域を創出	259,054		政策企画部・商工労働観光部・農林水産部	⑥
	地域公共交通網再構築事業費(駅再生プロジェクト推進事業)(共通)	公共交通の維持確保を図るため、市町村が実施する駅及び駅周辺の賑わい復活、交通結節機能の再生への取組に対して助成	20,700		建設交通部	⑨
	スポーツ拠点施設充実費(丹波自然運動公園車いす専用練習コース整備)	府立丹波自然運動公園内にマラソンや駅伝の車いす専用練習コースを整備	27,000		文化スポーツ部	③
	地域活性化スポーツ国際大会等誘致推進費(京都丹波トライアスロン大会開催負担金)	京都丹波トライアスロン大会in南丹の平成30年度開催に向けた経費を地元南丹市等と組織する実行委員会に対して負担	500		文化スポーツ部	②
	「森の京都」クラフトモール活用事業費	京都新光悦村への誘致活動の一環として、職人工場の立地、村の活性化を推進するため、未分譲区画に設置した移動式職人工場の維持管理を実施	1,000		商工労働観光部	④
<b>小 計</b>		<b>520,894</b>	<b>0</b>			
<b>3 林業振興と森林文化の継承</b>						
	丹波広域基幹林道の機能を活かした生産体制強化事業費	丹波広域基幹林道を活かした路網の集中整備と森林整備を促進し、木材資源の供給体制を強化	240,880	16,500	農林水産部	⑦
	林業「森世紀」創造戦略事業費	森林資源が伐期を迎える好機を捉え、府内産材の自給率アップによる府内完結型の木材産業体制の構築を目指した川下～川上の総合対策を実施	125,540	80,500	農林水産部	⑦
<b>小 計</b>		<b>366,420</b>	<b>97,000</b>			
<b>総 計</b>		<b>951,282</b>	<b>97,000</b>			

平成30年度 当初予算案主要事項(平成29年度2月補正含む)説明

共 通

事業名	「お茶の京都」事業費			新規・継続の別	一部新規	
予算額	841,732千円			その他	一般財源	
	国庫	起債		32,500	498,876	
事業内容  目的 対象 方法等	<p><b>1 趣 旨</b>                      美しい茶畑景観やお茶の文化を維持・継承するとともに、その魅力をさらに高めて国内外に発信することにより、山城地域に大交流圏を形成するため、DMO等とともに、地域の魅力を活かした持続可能な地域振興や産業振興を推進する。</p> <p><b>2 事業内容</b></p> <p>○ DMOによる「お茶の京都」の持続的展開 <span style="float:right">76,818千円</span>                      ・DMOが観光地域づくりの総合プロデューサーとして、戦略的な地域ブランド化、観光交流・観光消費額の拡大を図り、地域の稼ぐ力を創出                      ・「お茶の京都」の取組で醸成された地域のつながりや盛り上がりの機運をターゲットイヤー後も持続・発展させていくためのイベントの実施 等</p> <p>○ 宇治茶の文化の価値・魅力の発信、受入基盤の強化 <span style="float:right">495,294千円</span>                      ・宇治茶の世界文化遺産登録推進のための景観資産価値向上                      ・宇治茶のプレミアムブランド化の取組の推進 等</p> <p>○ 「お茶の京都」を支えるお茶産業の新展開 <span style="float:right">269,620千円</span>                      ・茶業研究所の機能強化のためのリニューアル整備の実施                      ・乗用摘採機に対応するための急傾斜茶園の緩斜面への整備                      ・宇治茶生産の効率化と高品質化のための被覆棚施設整備や茶園管理機械導入を支援 等</p>					
担当課・担当名	①企画理事付 企画総務課 企画調整担当 ②スポーツ振興課 国際大会等誘致担当 総合就業支援室 京都ジョブパーク担当 ③観光政策課 観光振興・基盤整備担当 ④農村振興課 計画基盤担当 移住促進担当 里力再生担当 ⑤流通・ブランド戦略課 研究普及担当 ⑥農産課 宇治茶・特産振興担当 ⑦交通政策課 調整担当			課・担当電話番号	075-414-4529 075-414-4336 075-414-4252 075-682-8913 075-414-4841 075-414-5048 075-414-4906 // 075-414-4968 075-414-4944 075-414-4360	



# 「お茶の京都」事業一覧

(単位:千円)

NO	概要	予算額	部局名
<b>1 DMOによる「お茶の京都」の持続的展開</b>			
	「お茶の京都」DMO推進事業費	58,980	企画理事付 ①
	「お茶の京都 宇治茶博2018」開催事業費	8,000	企画理事付 ①
	「もうひとつの京都」観光PR事業(共通)	9,838	商工労働観光部 ③
		<b>76,818</b>	
<b>2 宇治茶の文化の価値・魅力の発信、受入基盤の強化</b>			
新	農村型小規模多機能自治推進事業費(共通)	201,540	農林水産部 ④
	京都移住促進プロジェクト事業費(共通)(一部再掲)	259,054	政策企画部・商工労働観光部・農林水産部 ④
	地域公共交通網再構築事業費(駅再生プロジェクト推進事業)(共通)	20,700	建設交通部 ⑦
	宇治茶世界文化遺産登録推進戦略事業費	9,000	農林水産部 ⑥
	地域活性化スポーツ国際大会等誘致推進費(ツアー・オブ・ジャパン京都ステージ開催負担金)	5,000	文化スポーツ部 ②
		<b>495,294</b>	
<b>3 「お茶の京都」を支えるお茶産業の新展開</b>			
	茶業研究所機能強化事業費	90,470	農林水産部 ⑤
	農林水産業基盤整備事業費	179,150	農林水産部 ⑥
<b>小 計</b>		<b>269,620</b>	
<b>総 計</b>		<b>841,732</b>	

(問合せ先)

①

①

③

④

④

⑦

⑥

②

⑤

⑥